

分野	主要な道路の整備			事業番号	38	事業名	道路改築(地方道)				
市町村名	辰野町		ふりがな 箇所名	いちよちたつせん (一)与地辰野線 羽場		事業年度 (完了年度は見込み)	H24年度~		H26年度		
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)		交差点改良 L=400m W=6.5(15.5)m				H23年度末事業進捗率		0%		
	H24年度以降実施内容		同上				本工事費等ベース		0%		
	H24年度実施内容		交差点改良工 L=65m(暫定) 用地補償 一式				用地補償費ベース		0%		
	年度		全体事業費		H22年度まで		H23年度		H24年度		
	事業費計(千円)		250,000		0		0		100,000		
財源内訳	国庫支出金		112,500		0		0		45,000		
	その他										
	県債		123,750		0		0		49,500		
	一般財源		13,750		0		0		5,500		
箇所評価	観点		評価項目・指標等		評価			ランク		評点	
	(30)	計画交通量		10,000台/日以上		1,500台以上~10,000台/日未満		1,500台未満		4	
		代替道路		唯一の道路である		代替となる道路がある				0	
		ネットワーク(道路網)		駅やインターチェンジが20km以内にある		駅やインターチェンジが20km以上にある		駅やインターチェンジに通じる路線でない		5	
				通行不能区間、冬期通行規制の解消又は市街地の活性化に資する路線である		山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセスに寄与する		山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセス、市街地の活性化に寄与しない		5	
				観光地に通じる道路		観光地に通じる道路ではない				0	
				5.5m未満又は60m未満又は6%以上(幅員、半径、勾配)		5.5m以上6.5m未満(幅員)		6.5m以上(幅員)		2	
				自動車と自転車・歩行者との分離を図る		歩道はあるが不十分であるものを再整備		自転車と自転車・歩行者との分離がなされていない		2	
	小計								18		
	(15)	重要性		関連計画との整合		県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(2個以上)		県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(1個)		該当なし	
				設計上の環境・景観配慮		環境・景観配慮がされ確実性が高い		環境・景観配慮がされているが確実性が低い		環境・景観配慮をしていない	
				地域の法的な位置付け		緊急輸送路(1次)に位置付けられている		緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪地域、過疎地域、地震防災対策強化地域、観光圏整備実施計画認定地域に位置付けられている		特別な位置づけはない	
		小計								13	
	(15)	効率性		費用対効果		B/C(3便益)1.0以上		B/C(3便益)1.0未満(3便益以外の観点から一定の効果が見られる)		B/C(3便益)1.0未満	
				事業効果の早期発現(H24以降事業年数)		事業年数 5年未満		事業年数 5年~10年未満		事業年数 10年以上	
				コスト縮減		全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。		部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。		コスト縮減はしていない	
		小計								13	
	(20)	緊急性		安全性の向上		交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる		交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる		交通事故や落石等の危険がない	
				各事業特有の緊急性(渋滞対策・環境保全)(医療・福祉・教育)		渋滞箇所又は騒音・振動箇所が緩和する		渋滞箇所又は騒音・振動箇所ではないが、朝夕の局部的現象を緩和する		渋滞対策又は騒音・振動対策ではない	
						医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)		医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)		医療・福祉の連携に関係ない道路	
小計								16			
(20)	計画		地域からの要望		地域住民の内発的な要望が強い		市町村からの要望		特に要望がない		
			熟度		事業情報の共有		関係者以外に広く周知		関係者中心に周知		
					住民参加の状況		住民が計画策定に直接参加		住民や市町村の意見を計画策定に反映		
	小計								20		
費用対効果(B/C)		7.2		評価の合計			A		80		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的背景		平成8年~18年の過去10年間に於いて、羽場交差点付近で右折渋滞車両に追突する等の交通事故が10件発生しており、平成16年~20年までに辰野町道路懇談会が3回開催され地域住民から渋滞緩和の要望がだされていた。また、平成20年度には羽北地区道路懇談会(P.1)が計7回開催され、地域住民が道路計画において積極的に議論した。								
	地域からの要望経緯		平成16年辰野町長からJR下踏切の拡幅を含めた羽場工区の改良要望される。平成16年~平成20年までに辰野町道路懇談会が3回開催され、羽場交差点の渋滞対策について要望が出される。								
	事業説明等の経緯		平成21.8.27に第1回羽場交差点事業地元説明会開催し意見を伺った。平成21.12.17には第2回地元説明会を開催し事業について了解を得て、H22.3.2には用地境界立会を実施し、平成22.11.25用地買収単価を提示した。								
	環境・景観への配慮項目		排水性舗装を計画して近隣の住宅への騒音を軽減するとともに、降雨時の通学児童への通行車両からの水はねを防止する。								
	他事業・プロジェクトとの関連		伊北1.C周辺は(国)153号と2つの県道、および伊那西部広域農道が集中し、慢性的な渋滞にさらされており、羽北地区道路懇談会により一体として提案を受けた(主)伊那貨輪線の延伸区間について調査に着手した。								
特記事項		平成20年度にP1(羽北地区道路懇談会)全7回を開催し、住民が行政と一体となって計画から参加し地域の合意形成が図られた。									
地域の合意形成		全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他	
部意見		全体的に評価レベルが高く、地元の受け入れ体制も整っているため、平成24年度から事業化したい。			政策評価課		意見		重要性、緊急性が認められる。		